12. 動作が正常でない場合の確認ポイント

取付工事完了後の確認で動作が正常でない場合は、このチェックリストを参考にしてください。

番号	症状	考えられる原因
1	電源が入らない	●ブレーカーが ON になっていない。または停電している。 ●電源部・チューナー部に電源が供給されていない。 ●接続ケーブルが接続されていない。またはコネクタの勘合が不十分。 ●リモコンの動作不良 (操作パネルでは正常な場合)。 ●電源部・チューナー部の故障。
2	自然に電源が切れる	●オフタイマーが設定されている。
3	リモコンが効かない	●リモコンに電池が入っていない。 ●リモコンの電池が消耗している。 ●押したボタンの動作が切り替わる前に再びボタンを押している。 ●リモコン内部に水が入っている。
4	画面が雲る	●急激な温度変化がありませんでしたか。 (温度が急激に変化した場合は画面が曇ることがあります。)
5	映像・音声ともに出ない 映像が出ない (画面が真っ黒)	●電波の受信状態が悪い場合。 ●アンテナケーブルの接続状態が悪い場合。 ●本体とつながっている HDMI ケーブルの接続が良くない。 ●音量の調整が最小になっている。
6	受信できないチャンネルがある	●受信チャンネルの設定が正しくない。 ●該当するチャンネルの電波が弱い。
7	モザイク(ブロック)状のノイズが出る	●該当するチャンネルの電波が弱い。
8	映像が崩れたようになる	●アンテナの向きがずれている。 ●アンテナが UHF の全帯域用 (13 ～ 62 チャンネル) でない。
9	番組表 (EPG) に空白がある	●お買い上げ時、電源を入れた直後は暫く何も出ないことがあります。 チャンネルスキャンを完了し、受信を始めれば表示します。
10	字幕が出ない	●字幕の設定をしていない。 ●字幕のない放送番組ではありませんか。
11	外部接続機器の映像が出ない	●外部機器の入力チャンネルが違っている (チャンネルの選択)。 ●外部機器が正しく接続されていない。 ●AV コンセントの接続や接触が不確実。 ●接続ケーブルの接触不良。 ●映像信号の設定があっていない。
12	外部接続機器の音声が出ない	●外部機器の入力チャンネルが違っている (チャンネルの選択)。 ●外部機器が正しく接続されていない。
13	外部接続機器の映像・音声ともに出ない	●AV コンセントの接続や接触が不確実。 ●中継ケーブルの接触不良。
14	色合いがおかしい	●色の濃さ、色合いが正しく調整されていない。 ●RCA ケーブルや D4 端子の接触不良 (外部機器接続の場合)。
15	アナログの館内放送が受信できない	●アナログのチャンネル設定がされていない。 ●館内放送がされていない。

輸入発売元 株式会社ドウシシャ

121019D

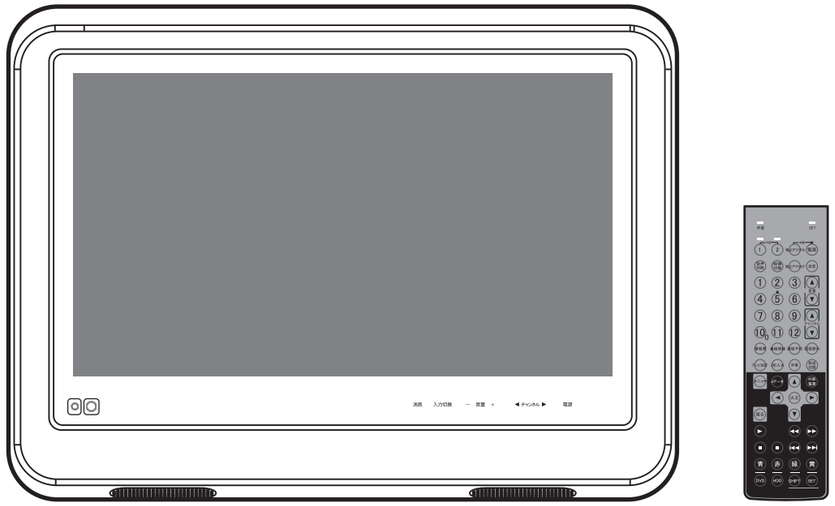
RAPHAIE

地デジハイビジョン

浴室テレビ 設置・取付工事要領書 (型式：BRT16V-F1)

設置・取付工事をされる方へのお願い

製品を安全にご使用いただくために、工事の前に設置・取付要領書をよくお読みいただき、要領書に指定された工事を行ってください。
指定された条件を外れた工事に起因して発生した故障などに対しては保証期間内でも有償修理となります。



もくじ

1. 安全上のご注意 ……1 ページ
2. 構成品の確認 ……2 ページ
3. システム系統図・工事配線図 ……3 ページ
4. 取付位置の確認 ……4 ページ
5. 外形寸法 ……4 ページ
6. テレビ本体・リモコンホルダー取付寸法 ……4 ページ
7. 取付工事前の確認 ……5 ～ 6 ページ
8. 取付工事
[1] アンテナの端末加工 (F 型接栓の加工) ……7 ページ
[2] テレビ本体取付板の取付用穴あけ加工……7 ページ
[3] テレビ本体取付板の取付……8 ページ
[4] テレビ本体の取付……8 ページ
[5] コーキングするためのマスキング……8 ページ
[6] テレビ本体のコーキング……9 ページ
[7] テレビカバーの取付……9 ページ
[8] 電源部・チューナー部の取付……9 ページ
[9] ケーブルの接続……10 ページ
[10] 電源ケーブルの接続……10 ページ
[11] B-CASカードをセット……11 ページ
9. リモコンの電池をセット ……12 ページ
10. AV コンセントのオプション ……13 ページ
11. 取付工事完了後のチェック項目事項……14 ページ
12. 動作が正常でない場合の確認ポイント ……裏表紙

株式会社ドウシシャ

1. 安全上のご注意

この設置・取付要領書の文中に出てくる「テレビ・本機・表示部・受信部」などの言葉には付属品も含まれています。

製品を安全に設置し、ご使用いただくために、下記の内容を必ず守ってください。
これらの内容は安全に関する重要な注意事項です。
表示の意味は次のような内容になっています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について　絵表示の意味は次の通りです。

絶対に行わない	絶対に分解や修理はしない	必ず指示に従う

⚠ 警告

禁止	室内の温度が 0℃以下になる場所や 55℃以上の高温になる場所には設置しないでください。 故障の原因となります。
分解禁止	分解や改造をしないでください。 事故の原因となります。
指示	電気工事は法令等にしたがって有資格者が行ってください。 対象となる法律は、「電気工事士法」「電気用品安全法」「電気設備に関する技術基準」「内線規定」です。
指示	ブレーカーおよび漏電ブレーカーを必ず取り付けてください。 漏電のとき、感電の原因となります。
指示	アース (接地) は必ず行ってください。 故障や漏電の際に感電する原因となります。
指示	コーキングは指定されている箇所に確実に行ってください。 コーキング材はシリコンなど柔軟で防水性の高いものを使用してください。 コーキングが不完全な場合、水漏れの原因となります。

11. 取付工事完了後のチェック項目

取付工事完了後はこのチェックリストに従って各項目をチェックしてください。
工事完了後も試運転は取扱説明書の内容に従って行ってください。
正常に動作することを確認していただいた後に、お客様にご使用方法を説明してお引き渡しください。

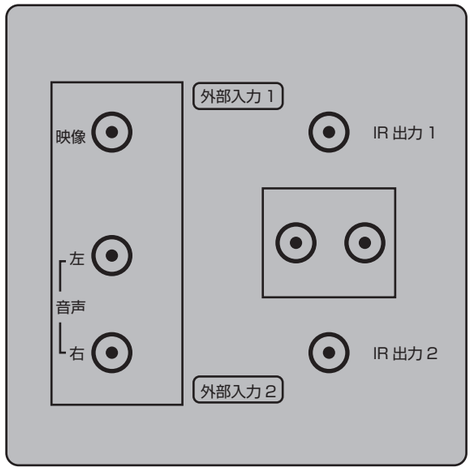
番号	チェック項目	チェック欄
1	電源部・チューナー部とテレビ本体がケーブル（3 本）で接続されていますか。	
2	電源ブレーカーは接続されていますか。	
3	漏電遮断器は接続されていますか。	
4	アンテナ線に保安器は接続されていますか。	
5	接地（アース）はされていますか。 （保安器、電源部・チューナー部、ブースターは設置した場合のみ）	
6	電源部・チューナー部のアンテナ端子にアンテナ線が接続されていますか。	
7	ブレーカーが「ON」になっていますか。AV100V が通電されていますか。	
8	電源ボタンを押すと電源ランプが点灯し、液晶に画面が映りますか。	
9	地上デジタルのチャンネル設定は完了していますか。	
10	（館内放送などがアナログの場合）アナログチャンネルの設定がされていますか。	
11	外部入力を接続した場合、外部入力が動作しますか。（外部入力を接続した場合のみ）	

10.AV コンセントのオプション

ＡＶコンセントには用途や工事内容により下記の５種類があります。
お客様のご希望に応じて選択してください。
ＡＶコンセントの接続方法はオプションセットに付属の説明書を参照してください。

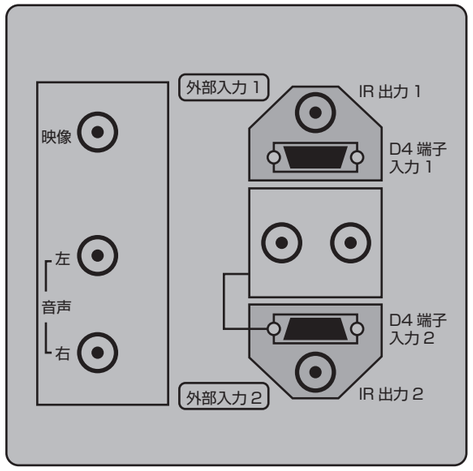
1. 接続する外部機器の種類

(1) DVD と AUX の 2 系統用を使用する場合



▲表面

(2) DVD と AUX、および D4 端子の全てを使用する場合

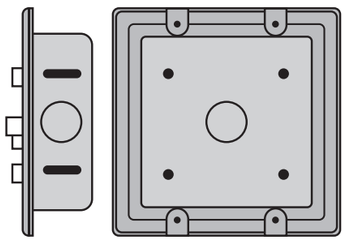


▲表面

2. 接続配線の工事方法の種類

(1) 壁内配線、埋め込み型ボックス

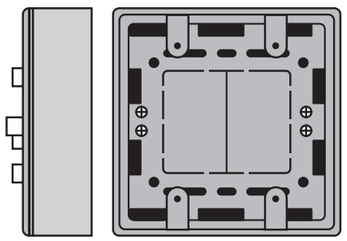
配線は壁の中の配管で行い、ボックス自体も埋め込むタイプ



▲側面　▲内側

(2) 壁内配線、露出型ボックス

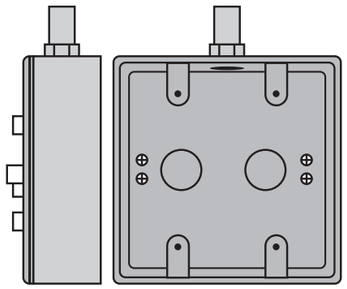
配線は壁の中の配管で行い、ボックスは露出のタイプ



▲側面　▲内側

(3) 外配線、露出型ボックス

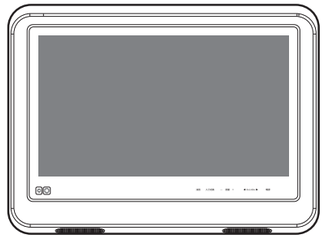
配線は壁の外側で、ボックスも露出のタイプ



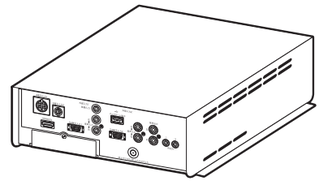
▲側面　▲内側

2. 構成品の確認　次の構成品が揃っていることを確認してください。

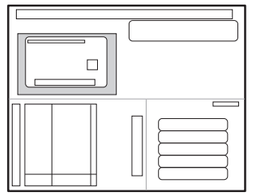
1. テレビ本体
×1



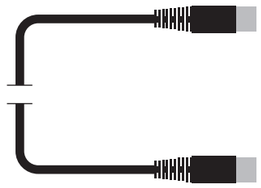
2. 電源部・チューナー部
×1



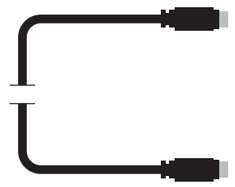
3.B-CAS カード
×1



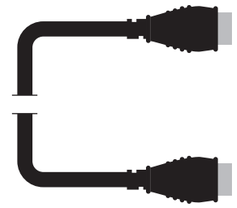
4. 中継接続ケーブル
×1
(S1 入力用・約 5m)



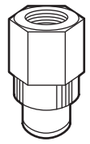
5. 中継接続ケーブル
×1
(S2 入力用・約 5m)



6.HDMI ケーブル
×1
(約 5m)

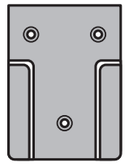


7. F 型接栓
×1
(5C ケーブル用)

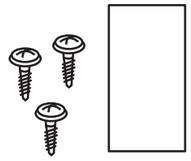


8. リモコン
×1

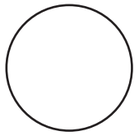
9. リモコンホルダー
×1



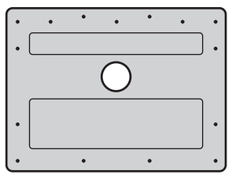
10. リモコンホルダー固定部品
×1 セット
(ワンタッチテープ ×1、固定ビス ×3)



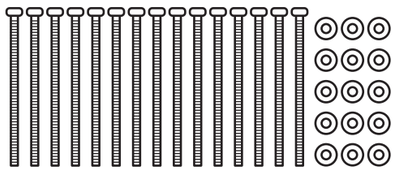
11. リモコン用電池
×1
(CR2025)



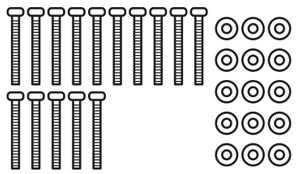
12. テレビ本体取付用鉄板
×1



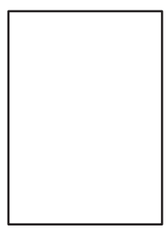
13. テレビ本体取付用ビス
×1 セット
(M4×70、φ4 ワッシャー　各15)



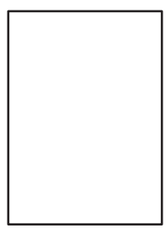
(M4×30、φ4 ワッシャー　各15)



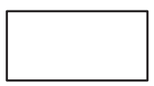
14. 取付設置工事要領書
×1



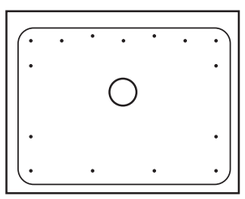
15. 取扱説明書
×1



16. 保証書
×1

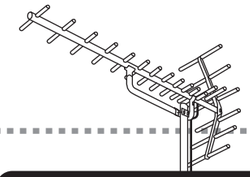


17. 取付用実寸型紙
×1



3. システム系統図・工事配線図

系統図



⚠ 警告

・工事にあたっては感電防止のため、必ず屋内開閉器(ブレーカー)および漏電遮断器を設けてください。屋内開閉器の設置には工事が必要です。

別途工事個所

地上デジタル対応 UHF アンテナ
（市販品　13ch~62ch 用 ）

既設のアンテナを使用される場合は、保安器の有無を確認してください。
無い場合は、追加してください。

保安器
（市販品）

雷対策として保安器を設置します。
必ず接地(アース)をしてください。

接地
(アース)

地上デジタル対応
ブースター または アッテネータ
（市販品）

ブースター (増幅器) 電波が弱い場合
→アンテナからの電波が弱く、受信障害となる場合に設置

アッテネータ(減衰器) 電波が強い場合
→アンテナからの電波が強く、受信障害となる場合に設置

接地
(アース)

分配器
（市販品）

既設のアンテナから分波される場合は、保安器の有無を確認してください。
無い場合は、追加してください。

入力
AC100V
50/60Hz

漏電遮断器

ブレーカー

アンテナ同軸ケーブル
(S-5C-FB)

電源･チューナー部

接地
(アース)

⚠ 注意

・ケーブル類は無理に引っ張らないでください。
断線し、故障の原因となります。

S端子入力1[13P]
S端子入力2[8P]
HDMI 入力

中継接続ケーブル(付属)

テレビ本体

外部入力２	音声入力(2系統)	AVコンセント(オプション) 外部入力1と2の接続ケーブルはオプションです。
	音声出力(2系統)	
	IR出力(2系統)	
外部入力１	映像入力･音声入力	
IR出力	2系統	

⚠ 注意

・アンテナ端子への入力信号
地上波デジタル放送: -55dBm～ -30dBm、館内放送等のアナログの場合：55dBμV ～ 80dBμV の範囲が目安

⚠ 注意

・電源･チューナー部のアップデート端子はサービス用です。通常は何も接続はしません。

9. リモコンの電池をセット

⚠ 注意

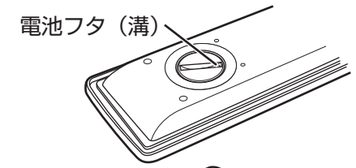
・電池をはずすとリモコンに設定した内容、学習した内容が消えてしまいます。
他のリモコンの信号をひとつひとつ学習させた場合などは特に注意してください。
・必ずリモコン・電池が乾いた状態で、乾いた場所で電池を入れる。
濡れた状態や湿度の多い場所で電池を入れると、内部に水滴が入り、故障の原因になります。まわりに水滴がついたときは、よくふき取ってください。
・電池フタの溝に合ったコインを使う。
溝に合わないコインを使うと、溝を壊し、電池フタの開閉ができなくなることがあります。

⚠ 注意

・電池は⊕⊖をよく確認して正しく入れてください。
・指定以外の電池は使わない。
・電池を火中へ投入したり、加熱・分解しない。
・電池を充電しない。
・万が一、液もれしたときは、大量の水で洗い流す。
電池からもれた液が目に入った場合は、こすらずに大量の水で洗い、医師に相談してください。

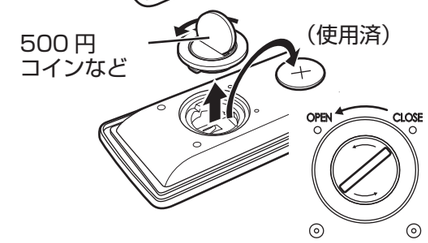
[1] リモコンを裏返しにし、電池フタを取りはずします

防水仕様のため電池フタの開閉はかたくしています。
リモコンの裏側にある電池フタを 500 円コインなどを使って、
左に回して取り外してください。



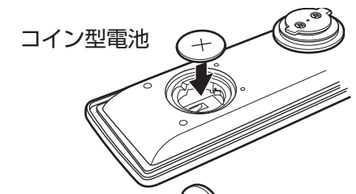
[2]（交換する場合）古い電池を取りはずします

＊使用済みの電池は、各地方自治体の指示に従って処分してください。



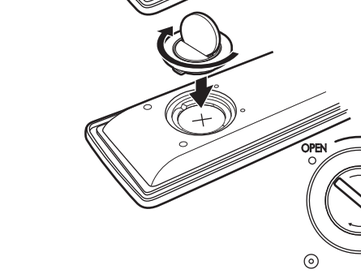
[3] 電池を入れます

コイン型電池 (CR2025) を⊕を上にして入れます。



[4] 電池フタを閉めます

取りはずした時と逆の手順で、電池フタをコインなどを使って
右に回してしめてください。

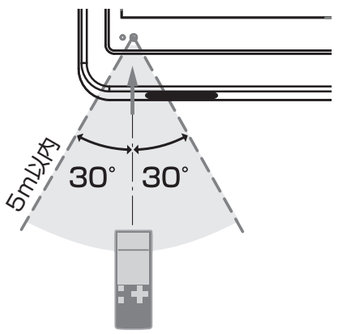


⚠ 注意

・使い切った電池はすぐに取り出す。
・長期間使用しない場合は、電池をはずしておく。
液もれが起こることがありますので、電池は取りはずしておいてください。
液もれをすると、故障の原因となります。
・電池フタが確実に閉まったことを十分に確認する。
確実に閉まっていないと、内部に水滴が入り、故障の原因になります。

リモコンの制御範囲

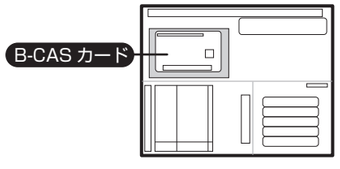
本機のテレビ本体左下にあるリモコン受信部に向けて使用してください。
約 5m 以内で上下左右約 30° の角度から制御することができます。



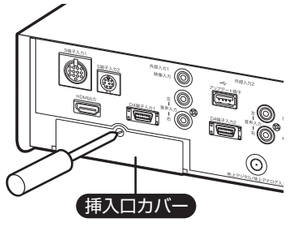
8. 取付工事　続き

[11]B-CASカードをセット

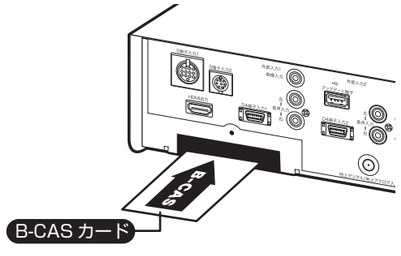
①付属の B-CAS カードホルダーから B-CAS カードを取り出します。
＊資料やはがきは保存してください。



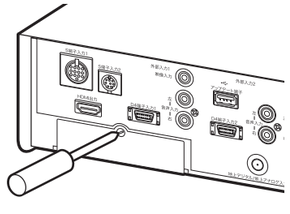
②電源・チューナー部の B-CAS カード挿入口のカバーを開けます。



③B-CAS カードを挿入します。
（**挿入方向に気をつけてください**）



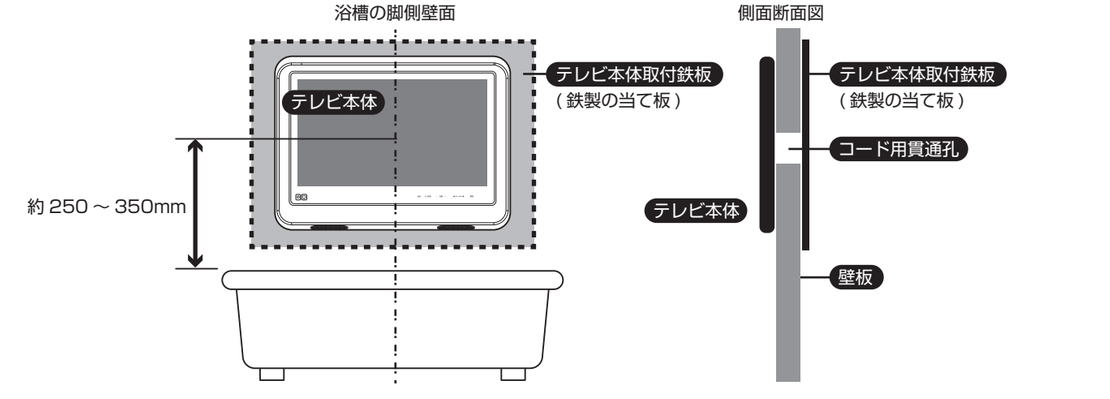
④挿入口のカバーを取付けます。



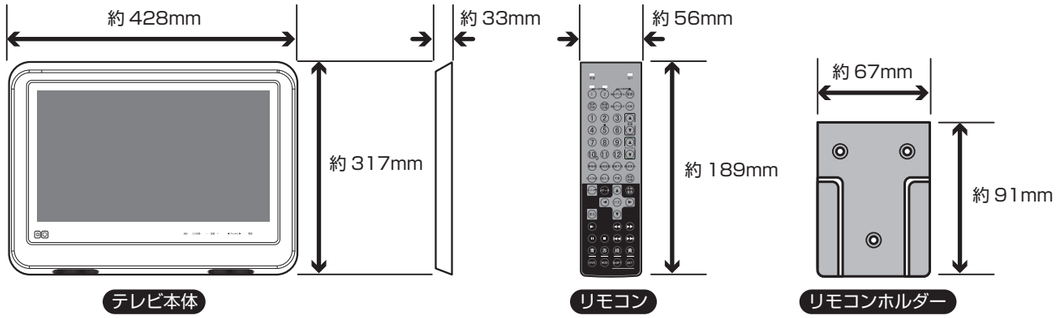
4. 取付位置の確認　この商品の推奨取付位置について説明します。

取付位置の確認を完了した際には、添付の「浴室テレビ本体取付位置確認書」により、必ず施主様の確認をいただいたことの記録を保管してください。

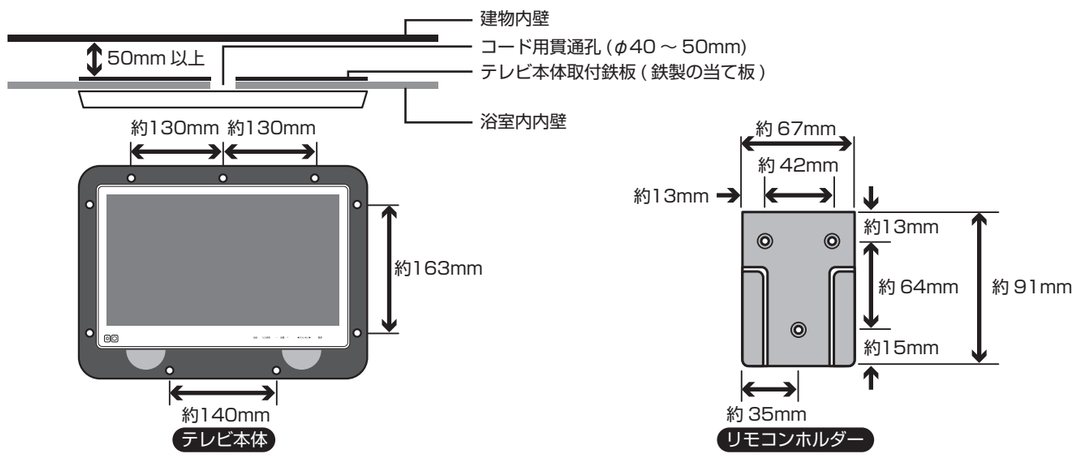
①このテレビは入浴中にテレビを鑑賞する目的で使用します。そのため、取付位置は浴槽に入った時の脚側の壁面に取付します。取り付ける壁面は平らな構造の壁面を推奨します。
②液晶パネルの視野角は上下・左右とも各 85 度です。壁面への取付は入浴時の目線の高さを目安にしてください。
③壁面へ取り付けるためのテレビ本体取付板(鉄製の当て板)を付属しています。浴槽パネルや壁板によっては裏面に補強リブがあり、当て板が使用できない場合があります。
この場合、リブを避けた位置に垂木などを設けて取付けてください。
④取付にあたっては、浴槽の水栓や配管、その他の付属設備と干渉しないように事前に確認をして取付けてください。



5. 外形寸法　この商品の外形寸法について説明します。



6. テレビ本体・リモコンホルダー取付寸法



7. 取付工事前の確認　取付工事前に必ず確認してください。

取付場所

①設置個所はお客様とご相談の上、取付壁面が平らで、取付強度が確保されていることを確認してください。
二重壁 (二重壁面) は壁が前面と後面が部分的に補強材で繋がっていて、且つ強度があることが必要です。
取付用鉄板を付属していますが、本機に必要な取付強度は 15kg 以上です。

付属している取付ネジについて

φ4mm×30mm：厚さ12mm 以下の壁に取付用鉄板をユニットバスの壁面に取付する時に使用します。
＊壁面裏側に補強リブがある場合は、取付用鉄板を垂木などで浮かせるなどの対策が必要です。
φ4mm×70mm：厚さ12mm を超える壁に取付用鉄板をユニットバスの壁面に取付する時に使用します。
＊取付後、コーキングが可能なことを確認してください。

②本製品の視野角は上下・左右それぞれ 85 度です。
お客様と相談し、浴槽内から見える位置に、できるだけ正面から見える位置に設置してください。

③テレビを取付ける取付用鉄板から建物の壁までの寸法は、ケーブルの逃がしのため、50mm 以上であることを確認してください。

④テレビの取付は給排水パイプ、水栓などと干渉しないようにしてください。

⑤外からの直射日光の当たる場所への設置はしないでください。

⑥設置場所の室温が 0℃以下や 50℃以上になる場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

⑦浴室乾燥機のある浴室に設置される場合は、浴室乾燥機の風が直接当たらない位置に設置してください。

⑧シャワーや水しぶきなどが直接当たる場所への設置は避けてください。

⑨溶剤や油脂系の洗剤など、特殊な薬品を使用する場所に設置しないでください。

⑩本製品 (テレビ本体・チューナー部) は屋内専用です。屋外には設置しないでください。

⑪電源・チューナー部は防水構造ではありません。天井裏に設置してください。浴室内には設置しないでください。
また、電源・チューナー部は覆わないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。

⑫取付位置の壁に保温材がある場合は、貫通孔にあたる部分の保温材を除去してください。

⑬テレビ本体と電源チューナー部から出ているケーブルは強く引っ張らないでください。故障の原因となります。

アンテナ

①本製品は地上放送用です。衛星放送の視聴はできません。

②受信できるチャンネルは地上波デジタル、CATV(パススルー方式)、および地上アナログ方式 (館内放送など) の 1～12 チャンネルです。

③電源チューナー部までアンテナ線が配線されていることを確認してください。使用同軸ケーブルは、5C-FV 相当です。

④電源チューナー部の信号強度は、地上波デジタル方法で -65dBm 以上、アナログの弱入力で 35dB 以上が必要です。

⑤信号が弱い場合は、ブースターを設置してください。また、信号が強すぎる場合は、アッテネータを取付けてください。

8. 取付工事　続き

[9] ケーブルの接続　アンテナ線などの信号系のケーブルを接続します。

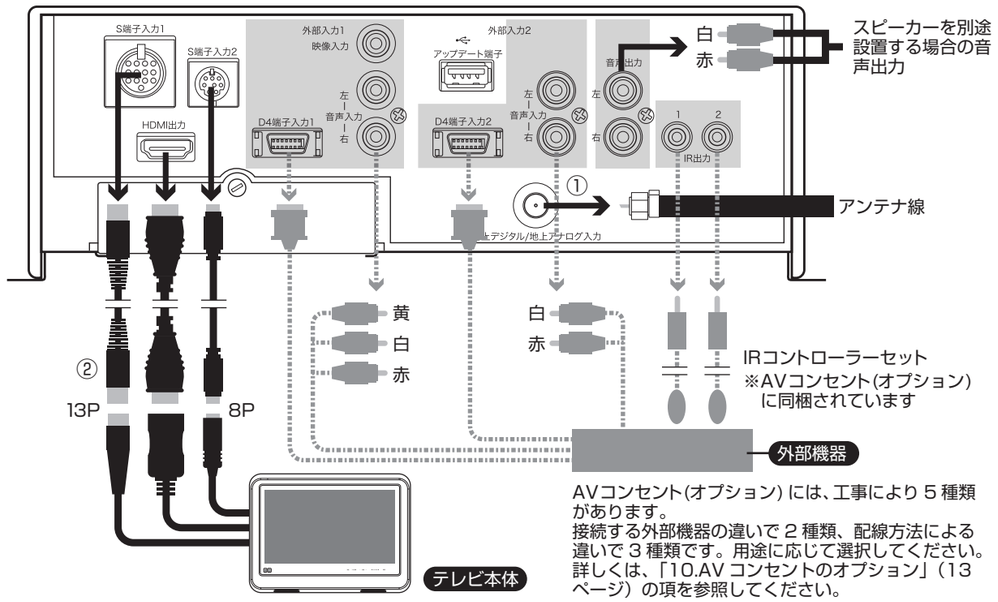
①アンテナ線をアンテナ端子に接続します。

②付属のケーブルを使って、S端子入力1、S端子入力2、HDMI出力を電源･チューナー部のS端子入力1、S端子入力 2、HDMI 出力の端子に接続します。

⚠ 注意
・電源･チューナー部のアップデート端子はサービス用です。通常は何も接続はしません。

③DVDなどの外部機器を接続して見ることもできます。この場合は、別売の「AVコンセントのオプションセット」の設置と接続工事が必要となります。
別売の「AVコンセントのオプションセット」については、お買い上げの販売店にご相談ください。
＊「AVコンセントのオプションセット」には、外部機器に接続するためのD端子ケーブルやAVコードが付属されていません。接続する外部機器に応じた市販のD端子ケーブルやAVコードをご準備ください。

◎ ┈┈ (破線)部分はAVコンセント(オプション)付属品

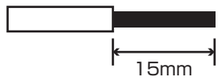


AVコンセント(オプション) には、工事により 5 種類があります。
接続する外部機器の違いで 2 種類、配線方法による違いで 3 種類です。用途に応じて選択してください。
詳しくは、「10.AV コンセントのオプション」（13 ページ）の項を参照してください。

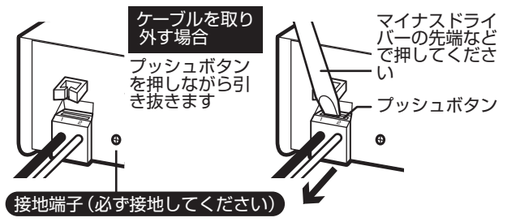
[10] 電源ケーブルの接続

⚠ 警告
・必ず接地接続を行ってください。
・接地接続は必ず主電源線を主電源端子につなぐ前に行ってください。
また、接地線を外す場合は、必ず主電源ブレーカーを「断」にし、主電源線を主電源端子から切り離してください。

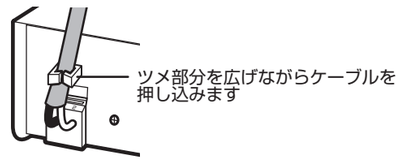
①AC100V 入力の電源線 (VVF) ケーブルの端末を加工します。
＊推奨する電線の直径はφ1.6 ～ 2.0mm です。



②AC100V 入力の電源線 (VVF) ケーブルを電源部・チューナー部の入力端子に差し込みます。



③AC100V 入力の電源線 (VVF) ケーブルをケーブルクランプで固定します。

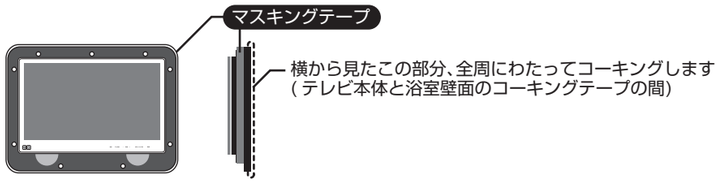


8. 取付工事　続き

[6] テレビ本体のコーキング

①コーキング剤は、シリコンコーキングを使用します。
＊必ず「非硬化性の防カビ剤入りのシリコンコーキング剤」を使用してください。

②テレビ本体の全周にわたって、シリコンコーキングを切れ目のないように塗布してください。

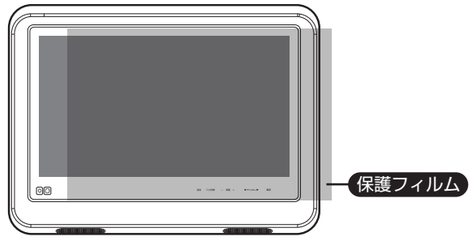


[7] テレビカバーの取付

①コーキング剤が硬化したことを確かめ、マスキングテープを剥がします。
＊コーキング剤の硬化時間は、コーキング剤の説明書で確認してください。

②テレビ本体に外枠を取付けます。
＊コーキング剤が非硬化性ではない場合、カバーが取付けづらくなります。

③[5] の①で剥がした保護フィルムを貼り付けて養生します。

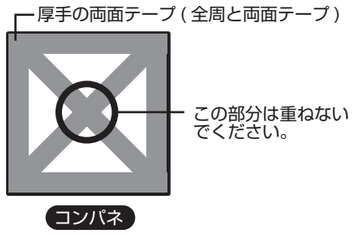


[8] 電源部・チューナー部の取付

電源・チューナー部を浴室の天井裏に取付けます。設置場所は天井の点検口近くで、点検しやすい場所に設置します。

①設置前の準備
(1) 設置場所のほこりや汚れ、水分などを取り除いてください。
(2) コンパネを準備してください。(厚さ 10mm 程度、300mm ～ 350mm 四方のコンパネを 1 枚)
(3) グラスウールなどの保温材がある場合は、破らないようにしてください。

②コンパネを天井に取付けます。
(1) コンパネに厚手の両面テープ(厚さ1mm 程度)を貼り付けてください。
＊コンパネの周囲と対角線になる部分に貼り付けてください。
(2) 厚手の両面テープ (厚さ 1mm 程度) の離型紙を剥がします。
(3) コンパネを浴室の天井板にしっかりと貼り付けてください。



③電源・チューナー部をコンパネに取付けてください。
＊木ネジ(市販品)４本で取付けます。

⚠ 注意
・電源・チューナー部をグラスウールなどの保温材で覆わないでください。故障の原因となります。

7. 取付工事前の確認　続き

電気工事

①電気工事にあたっては、関連法令や規則に従って行ってください。また、電気工事は有資格者が行ってください。

②関係する法令等は次の通りです。

「電気安全法」
「電気設備に関する技術基準」
「内線規定」
「電気工事士法」

③工事にあたっては必ず開閉器(ブレーカー) および漏電遮断器を設置し、アース工事を行ってください。

④天井裏の電源チューナー部までは VVF ケーブルで配線してください。

オプション工事

①オプションのAVコードを設ける場合は、AV 延長ケーブル(オプション) が配線されていることが必要です。

②延長ケーブルの電源チューナー部の端末コネクタは RCAタイプ(音声：白・赤、映像：黄)です。

③音声出力または入力が必要な場合は、音声用の信号線(電源・チューナー部の端末は白・赤) が配線されていることが必要です。

④浴室内から外部の接続されているAV機器を操作するためには、IR ケーブル(オプション・ 最長15mまで)が必要です。
最大 2 系統まで設置可能です。

その他の注意事項

①液晶パネルが破損する原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。

②落下させたり、強い衝撃を与えた商品は使用しないでください。特に本体は水の侵入による発煙・発火・漏電・感電の恐れがあります。

③ケーブルテレビに接続される場合は、工事した会社に相談してください。

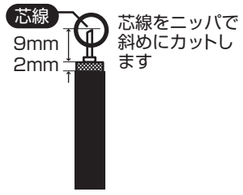
8. 取付工事

[1] アンテナの端末加工(F型接栓の加工)

①同軸ケーブルの端末を加工する場合は、芯線や編組線に傷をつけると断線の原因となります。
また、芯線と編組線はショートしないように注意してください。

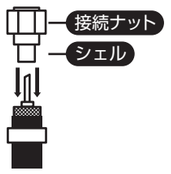
②端末加工の手順は次の通りです。

1）先端を加工します

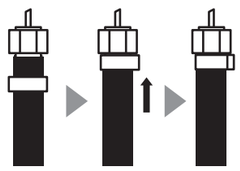


2）編組を折り返し、リングを通します

3）絶縁体と編組の間にシェルを差し込みます



4）リングをペンチなどで挟んで固定します

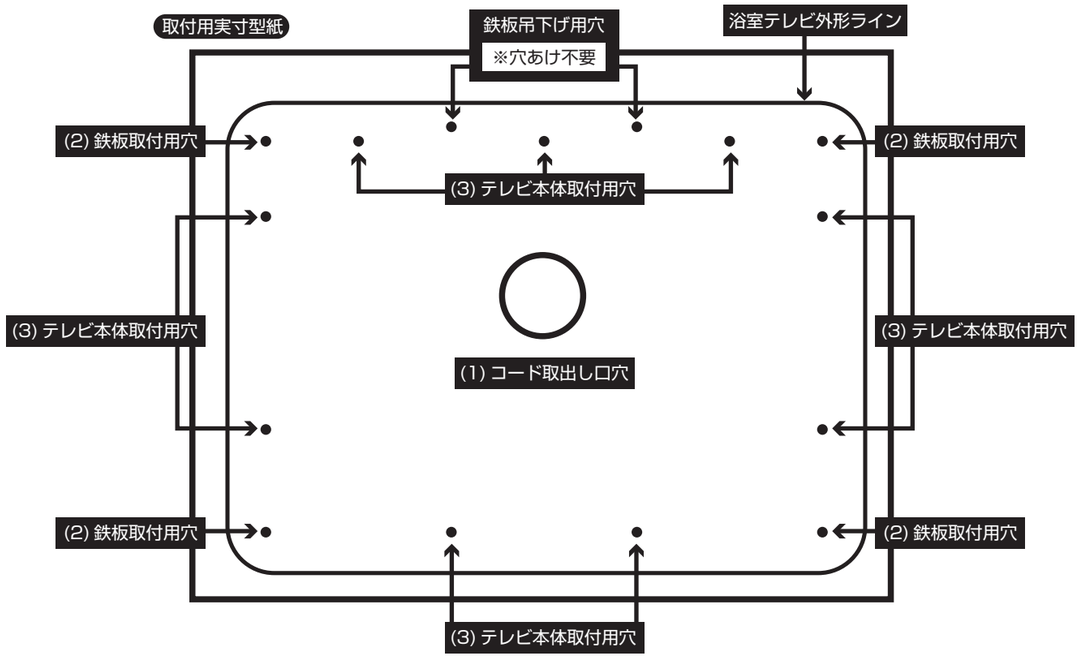


[2] テレビ本体取付鉄板の取付用穴あけ加工

①テレビを取付ける壁面に実寸大の型紙を貼り付けます。

②型紙に示された箇所に穴をあけます。

(1) テレビのコード取出し用の穴 (φ40 ～ 60mm) : 1 か所
(2) テレビ本体取付鉄板を壁に取付ける穴 (φ5mm) : 4 か所
(3) テレビを取付ける穴 (φ5mm) : 9 か所



⚠ 注意

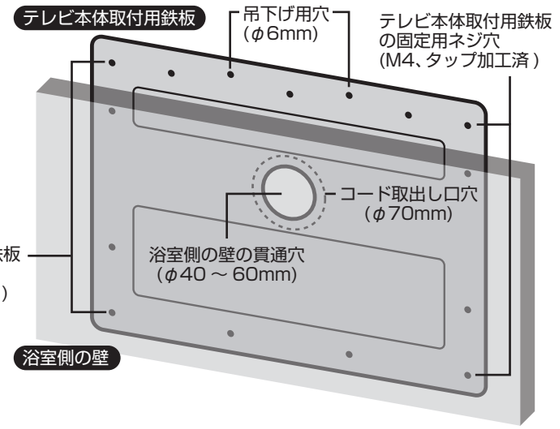
- 二重壁 (二重壁面) は、壁面の前面と後面が部分的に補強材で繋がっていて、且つ強度があることが必要です。ユニットバスなどで壁面裏面に補強リブがある物については、取付用鉄板を垂木などで浮かせるなどの対策をしてください。
- テレビ本体取付板を吊り下げて取付工事をする場合は、1mm 程度の太さのワイヤーを用い、鉄板吊り下げ用穴を使って吊り下げた状態で取付けてください。
- テレビ本体取付板を仮止めした後、吊り下げたワイヤーは取り外してください。
- ワイヤーを取り外した後、テレビ本体取付板を固定してください。
- テレビ本体取付板を固定するネジは、ISO ピッチのφM4×30mm です。壁の厚さは、12mm までを想定しています。壁がこれより厚い場合は、付属の ISO ピッチのφM4×70mm の長さのネジを使用してください。

8. 取付工事　続き

[3] テレビ本体取付鉄板の取付

①テレビ本体取付用穴に付属のネジφ4mm×30mm の ISO ピッチ (0.7mm) で、テレビ本体取付鉄板を取付けます。
(M4×30mmで短い場合は、付属の M4×70mm のネジを使用してください。)
＊取付にあたっては、必ず平ワッシャーを使用してください。(スプリングワッシャーは不要です)

②上記のネジ 4 本のコーキングはテレビ本体取付後にまとめて行います。



[4] テレビ本体の取付

⚠ 注意

- テレビ本体の取付は、テレビ本体への傷や損傷防止のためテレビ本体取付鉄板の設置後に行ってください。
- 作業中に傷がつかないように、特に LCD 面に注意して作業してください。
- テレビ本体の取付にあたっては、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形する原因となります。
- ネジの締付けは一度に強く締めつけず、全体を均等に緩く締付け、最後に増締めします。

①テレビ取付用鉄板がしっかり固定されていることを確認します。

②テレビ取付用鉄板の中央の穴([3] 図の中央と示したなネジ穴)にテレビ本体を仮止めします。

③残りの 8 本のネジを取付、軽く締付けます。

④水平になっていることを確認し、ネジを締付けます。
＊締付けは対角上の位置にあるネジを順次締付けることをお勧めします。

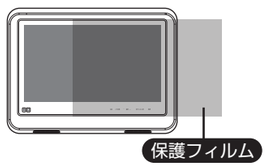
⑤ネジを増締めします。
＊締付けトルクを設定できるドライバーでは、0.4 ～ 0.5N·m で締付けてください。

[5] コーキングするためのマスキング

テレビ本体へのマスキング

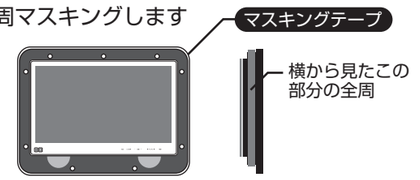
⚠ 注意 ・保護フィルムは再度使用しますので破棄しないでください。

①保護フィルムを剥がします



②前面カバーを外します

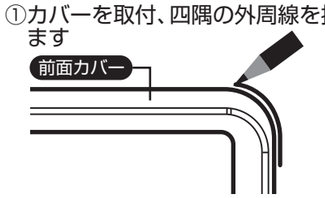
③全周マスキングします



浴室の壁面へのマスキング

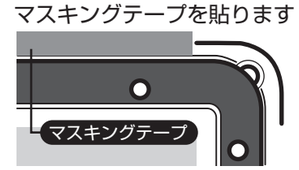
⚠ 注意 ・鉛筆など消去が可能な用具で線を描いてください。

①カバーを取付、四隅の外周線を描きます



②カバーを外し、本体側の外周線を描きます

③本体側の外周線(細い線)に沿ってマスキングテープを貼ります



④四隅部分はカバーの外周線(濃い線)より内側 5mm 程度を目安にして「テレビ取付用板」のネジ頭をコーキングできるようにマスキングします